

## 【著者紹介】

### 藤木秀朗 FUJIKI Hideaki

名古屋大学大学院人文学研究科  
映像学

『映画観客とは何者か——メディアと社会主体の近現代史』(名古屋大学出版会、2019年、改訂英語版 *Making Audiences: A Social History of Japanese Cinema and Media*, Oxford University Press, forthcoming) / 『増殖するペルソナ——映画スターダムの成立と日本近代』(名古屋大学出版会、2007年、改訂英語版 *Making Personas: Transnational Film Stardom in Modern Japan* (Harvard University Asia Center, 2013) / *The Japanese Cinema Book* (co-edited with Alastair Phillips, British Film Institute, 2020) ほか

### カール・スクーノヴァー Karl SCHOONOVER

ウォリック大学映画テレビ研究学科  
映像学

*Brutal Vision: The Neorealist Body in Postwar Italian Cinema* (University of Minnesota Press, 2012) / *Queer Cinema in the World* (with Rosalind Galt, Duke University Press, 2016) / *Global Art Cinema: New Theories and Histories* (co-edited with Rosalind Galt, Oxford University Press, 2010) ほか

### 大崎晴美 OSAKI Harumi

中京大学教養教育研究院・非常勤講師  
哲学・思想

*Nothingness in the Heart of Empire: The Moral and Political Philosophy of the Kyoto School in Imperial Japan*, (Sate University of New York Press, 2019) / "The Dialectic of Hegel and Nishida: How to Deal with Modernity," *European Journal of Japanese Philosophy*, European Network of Japanese Philosophy, 2017. / "Pure Experience in Question: William James in the Philosophies of Kitarō Nishida and Alfred North Whitehead," *Philosophy East and West* (University of Hawaii Press, 2015) ほか

### 芳賀浩一 HAGA Koichi

城西国際大学人文学研究科  
環境思想・環境文学

『気候変動をめぐる「遅い暴力」と現代文学の射程』『現代思想』vol. 48-5, 2020年3月 / *The Earth Writes: The Great Earthquake and The Novel in Post-3.11 Japan* (Lexington Books, 2019) / 『ポスト3.11 小説論——遅い暴力に抗する人新世の思想』(水声社、2018年) ほか

### 孟悦 MENG Yue

トロント大学東アジア研究学科  
近現代中国文学、文化・歴史研究、環境人文学

*Shanghai and Edges of Empires* (University of Minnesota Press, 2006) / 『人-歴史-家園——文化研究三調』(2007) / 『浮出歴史地帯——中国現代女作家研究』(載錦華との共著、1990) ほか

### 陳悦 CHEN Yue

名古屋大学、愛知工業大学・非常勤講師  
中華圏映画批評、視覚文化

『江湖空間を往来する女侠——『グリーン・デスティニー』におけるヒロインの造形』『愛知工業大学研究報告』第55号、2020年4月 / 『性別言説下的日本影像社会』『当代電影』(Contemporary Cinema) 2018年11月 / 『李安の『ラスト・コーション』における上海イメージ』『中国研究月報』(Monthly journal of Chinese affairs) Vol71、2017年4月

### 胡嘉明 WU Ka-ming

香港中文大学文化宗教研究学科  
文化人類学

*Reinventing Chinese Tradition: The Cultural Politics of Late Socialism* (University of Illinois Press, 2015) / 共著書『廢品生活——垃圾場的經濟、社群與空間』。その他多数の論文が、*Journal of Asian Studies*, *Modern China*, *The China Journal*, *Cities*, *Urban Geography*, *Ethnology*, and *Taiwan: The Radical Journal of Social Studies* などに掲載。

### 岸川あゆみ KISHIKAWA Ayumi

名古屋大学大学院人文学研究科・博士前期課程  
文化動態学分野・専門

『台湾表象から問い直す日本のポストコロニアル』(名古屋大学修士学位論文、2021年)

### 星野幸代 HOSHINO Yukiyo

名古屋大学大学院人文学研究科  
中国近現代文学・舞踊史

近現代中国文学、近現代日中比較舞踊史『日中戦争下のモダンダンス——交錯するプロパガンダ』汲古書院、2018年 / 『移動するメディアとプロパガンダ』(共編著、勉誠出版、2020年) / 『抗日舞踊と育才学校の接点』、馬場毅編『多角的視点から見た日中戦争——政治・経済・軍事・文化・民族の相克』集広舎、2015年ほか

### 藤城孝輔 FUJIKI Kosuke

岡山理科大学教育推進機構  
映画研究、映像翻訳

『メディアを往復する「風音」——映画化、作者、コンテクスト』『沖繩文化研究』47号、2020年 / "Adapting Ambiguity, Placing (In)visibility: Geopolitical and Sexual Tension in Lee Chang-dong's *Burning*" 『映画研究』14号、2019年 / 『二つの時代のあいだで——『花様年華』と『2046』における狭間の時空間』、杉野健太郎編『映画とイデオロギー』ミネルヴァ書房、2015年ほか

### 柳井貴士 YANAI Takashi

愛知淑徳大学創造表現学部  
日本近現代文学、沖繩文学・文化研究

『〈ゴジラ〉から〈メカゴジラ〉へ——「怪獣」の沖繩来島をめぐる考察』『アジア・文化・歴史』11、2020年7月 / 『又吉栄喜「ジョージが射殺した猪」論——〈模倣〉と〈承認〉による「米兵」化をめぐる』『文学・語学』228、2020年4月 / 『明治期沖繩の散文小説をめぐる一断面——三面子「迷心」論』『国文学研究』190、2020年3月ほか

## 長谷川功一 HASEGAWA Koichi

京都情報大学院大学  
映画研究

『カーチェイス表象の探究——ハリウッド最大のスペクタクルの映画史』溪水社、2018年／「松田聖子の登竜門——『伊豆の踊子』映画化の系譜(1933-1974)と映画『野菊の墓』(1981)』『比較文化研究』第137号、2019年／「戦後のハワイ映画と『ブルメリアの伝説』(1983年)における日系女性像の比較』『比較文化研究』第141号、2020年ほか

## 森田和磨 MORITA Kazuma

一橋大学大学院言語社会研究科博士後期課程／日本学術振興会特別研究員DC2  
戦後文学、批評理論

「石原吉郎『望郷と海』における「証言」についての一考察——『夜と霧』との比較を中心に」『言語社会』12号、2018年／“How Does He Embrace the Defeat?: Questions on Community in Shōhei Ōoka's *Taken Captive: A Japanese POW's Story*.” *Correspondence vol.5* (2019)／「精神分析と文学」三原芳秋ほか編『クリティカルワード 文学理論』、フィルムアート社、2020年

## 清松大 KIYOMATSU Hiroshi

慶應義塾大学・非常勤講師  
日本近代文学・文化

「相剋する信仰と懷疑——明治期ハンセン病文学と「信心」のゆくえ」、『社会文学』第52号、2020年8月／「上田広「黄塵」と文学の〈大衆性〉への欲望——『文藝首都』から『大陸』への転載をめぐる問題系」、小平麻衣子編『文藝首都』——公器としての同人誌、翰林書房、2020年／「〈国民〉から〈民衆〉へ——永井荷風「父の恩」の日露戦後空間」、『日本近代文学』第99集、2018年11月ほか

## 栗原悠 KURIHARA Yutaka

早稲田大学国際文学館  
日本近代文学

「島崎藤村「ある女の生涯」における信仰——森田正馬の〈患者〉認識との比較を中心に」、『日本近代文学』101集、2019年11月／「島崎藤村「涙」とその問題系——掲載誌「解放」の論調との交差」、『社会文学』51号、2020年3月／「島崎藤村「三人」論——学都・松本と女子教育」、『WASEDA RILAS JOURNAL』No.8、2020年10月

## 苗鳳科 MIAO Fengke

中央大学文学研究科・博士後期課程  
日本近現代文学・比較文学・読者受容論

*Inter-Asian Translation and the Changing Subjectivities: A Case Study on the Reception of Japanese Detective Fiction in 1980's China*, IACS Conference 2019 (Inter-Asia Cultural studies), Silliman University (Philippines), 2019／「中国における日本近現代小説の受容研究：1979-1992年——推理小説の翻訳出版を視野に入れて」、『大学院研究年報』文学研究科篇第49号、中央大学大学院、2020年2月／「80年代の中国における日本社会派推理の受容について——『砂の器』と「人間の証明」から見えるもの」、『日本文学』、日本文学協会、2020年9月

## 西岡宇行 NISHIOKA Takayuki

東京大学大学院総合文化研究科・博士後期課程  
日本近現代文学

「大江健三郎『同時代ゲーム』論——手紙の編集に着目して」、日本近代文学会2019年度春季大会、専修大学、2019年／「大江健三郎『水死』における憑依のモチーフ——人称転換に着目して」(※「戦後の日本文学における〈語りの伝承〉の主題——その背景と実践の検討」中のパネル発表)、日本近代文学会・昭和文学会・日本社会文学会合同国際研究集会、二松学舎大学、2019年／「大江健三郎『晩年様式集』」に描かれる「私」と「私ら」との関係」『言語情報科学』第18巻、2020年3月

## 勝部美星 KATSUBE Mihoshi

名古屋大学大学院人文学研究科・博士前期課程  
日本近現代文学、ジェンダー・セクシュアリティ研究

「抵抗を読みとく——森茉莉『恋人たちの森』の同性愛表象」第7回台湾大学・名古屋大学院生研究交流集会、オンライン・台湾大学、2020年12月

## 霜山博也 SHIMOYAMA Hiroyo

名古屋芸術大学・豊橋創造大学・非常勤講師  
西洋哲学、美学、情報創造論

“A Deconstruction of Robot Ethics through the Concept of the ‘Robomot’”, *Envisioning Robots in Society—Power, Politics, and Public Space*, Proceedings of Robophilosophy 2018 / TRANSOR 2018, IOS Press, 2018. / “The ‘Diagram’ as the Audio-Visual Image”, 2019 Nicograph International (Nicolint), IEEE, 2019. / “‘Auto-Image’による情報化時代の自己イメージ批評——肖像から自撮り、フェイクニュース、AIへ」『社会情報システム学シンポジウム学術講演論文集26』、2020年

## 栗田秀法 KURITA Hidenori

名古屋大学大学院人文学研究科  
美術館学・西洋美術史

『ブッサンにおける語りと寓意』三元社、2014年／編著『現代博物館学入門』ミネルヴァ書房、2019年／共著『新古典主義美術の系譜』中央公論美術出版、2020年

## 薛梅 XUE Mei

名古屋大学大学院人文学研究科・博士候補研究員  
ジェンダー・女性史研究

「清末民初日本における中国人女子留学生の身体表象——『婦女新聞』を中心に」、『中国女性史研究』(27)、2018年／共訳書『父权制与资本主义』浙江大学、2020年(原著：上野千鶴子『父家長制と資本主義』岩波書店、1990年)

## 羅霄怡 LUO Xiaoyi

名古屋大学大学院人文学研究科・博士後期課程  
映像学

「当代日本における中国映画の受容——『山の郵便配達』を中心として」(修士論文)北京師範大学、2017年／「当代日本における中国映画の受容——『故郷の香』を中心として」(修士論文)金沢大学、2017年／翻訳：作者：西田胜「漂洋过海的无产阶级文学备忘录——从诗歌杂志《燕人街》的发刊到野川隆的登场」『东北亚外语研究』3.02(2015)